

乳腺・内分泌外科



▲岩瀬弘敬教授

当分野は乳癌の集学的治療、甲状腺・副甲状腺疾患の外科的治療を担当しています。乳癌手術では、術前に薬物療法で腫瘍を縮小させて縮小手術を行うこと、センチネル(見張り)リンパ節生検の結果から腋窩リンパ節郭清を

省略することなど、患者様に優しい手術を心がけています。乳房切除術が避けられない場合にも、形成外科の協力で自己組織やインプラントを用いた乳房再建術なども積極的に取り入れています。薬物療法では、国内外の治験や臨床試験に積極的に参加し、新薬剤や治療法の開発、予後因子や効果予測因子そしてバイオマーカーなどのトランスレーショナル研究に関わっています。特に、進行乳癌に対するホルモン療法や遺伝乳癌に対する診療研究は高いレベルにあると言えます。また、腫瘍の性質や患者様の個性に合わせた個別化診療を目指して、病理部、他診療科医師、薬剤師、看護師、ソーシャルワーカー、医療事務と共にチーム医療を実践しています。

地域医療連携センター



▲片瀬秀隆センター長

▲宇宿功市郎副センター長

▲稗田君子看護師長

外来診療棟1階 総合受付の右側(10番窓口横)に、プライバシーに配慮した相談室を設けています。お気軽にご相談ください。

本院は特定機能病院・急性期病院として高度先進医療を提供する役割が求められています。そのことから、本院での治療が終わると、患者様は次の病院への転院、あるいは在宅で

の療養を目指すこととなります。在院日数は年々短くなる傾向にあり、治療は入院から外来へ移行し、日常生活を送りながら治療や定期受診を継続する患者様が増加しています。そのような中、地域医療連携センターは、地域の医療機関との連携を担う部署として、病気によって生じるいろいろな悩みや不安についてのご相談に対処することを主な仕事として活動しています。患者様やご家族の思いをお聞きしながら一緒に考えることに努め、担当医師や看護師、薬剤師、栄養士、あるいは理学療法士などの方々との話し合いも行います。また、地域でのサポート、例えば訪問診療や訪問看護、ヘルパーが必要な場合、患者様・ご家族にご参加いただいで一緒に話し合います。